

◇トライビーム 施術説明・禁忌・副作用◇

トライビームトーンリングは低出力のレーザーを顔全体に照射することで、メラニン色素を徐々に減らし、お肌のトーンアップ、ブライティング効果があります。肝斑や炎症後色素沈着、くすみの改善に効果的な治療です。顔全体のトーンアップし、ホワイトニング効果を発揮します。メラニン色素を少しずつ分解・排出していくため、薄いシミ、肌全体のくすみの改善に効果的です。肝斑がある場合は該当部分を避けて照射します。

●以下の場合には施術をお断りしています。

・妊娠中の方 ・てんかんを持病でお持ちの方

●以下にご注意ください。

・レーザー照射後は日常的なスキンケアを行い、保湿を十分に行ってください。また、日焼けや、肌への刺激を加えると色素沈着を生じる可能性があります。治療期間中は低刺激の日焼け止めの使用等により紫外線対策を十分に行った上で日焼けは避けて下さい。

※日焼けの状態によってはレーザー照射を延期する場合がございますのでご了承ください。また、肌へのマッサージやピーリング等も避けて下さい。

・治療効果や治療回数には個人差があり、治療完了後に再発することもあります。予めご了承下さい。次回の治療の際には、指示した施術間隔を守っていただく様お願い致します。

・レーザー照射後に赤み、腫れ、毛囊炎、水疱などのやけど、炎症後色素沈着、色素脱失、硬毛化などを起こす場合があります。他医院でレーザーを受けられて、上記のような症状が出たことのある方は事前にお申し出下さい。炎症後色素沈着は、場合によってはもとのシミより濃くなる場合があります、3～6ヶ月かけて徐々に改善してくる事が多いですが、稀に残ってしまう場合もあります。扁平母斑などの疾患によっては、もとの状態より濃くなることや、再発することもあります。

・照射後、皮膚トラブルが生じた場合、医師による診察をさせていただきます。

※診察後に薬が処方される場合、別途薬代がかかりますのでご了承下さい。

・安全上の為、目の周りの照射はお受けしていません。コンタクトレンズ、カラーコンタクトを装着されている方は、火傷、変色、変形のリスクがあります。特にカラーコンタクト装着中の方は照射時にはずしていただくこともございます。

・治療の部位に癌、感染症、傷や皮膚腫瘍がある方、金の糸が入っている方、金製剤による治療歴が直近の1年にある方、ペースメーカーや除細動器を入れている方は治療を控えて頂きます。

・治療部位に金属やシリコン、インプラントを入れている方、光アレルギーの方、心臓疾患のある方、出血性疾患のある方、糖尿病の方、ケロイド体質の方、単純ヘルペスの活動病変がある方、過度な日焼けをされている方は治療が受けられない場合があります。

・残しておきたいホクロ、照射したくないシミ、アートメイク、髭などがある場合は施術前に医師・看護師にお申し出下さい。

・レーザーや医療機器はいずれも精密機器です。万が一、危機にトラブルがあった際には、同日に治療を受けて頂けない事がありますのでご了承下さい。

禁忌事項 施術をお受けいただけない患者様

- ・光感受性が強い場合および、光感受性を増強させる薬剤の服用者。
※光（特に紫外線やレーザーなど）に反応して皮膚に赤み、かゆみ、腫れ、水疱、色素沈着などの症状が現れる病気です。従って、副作用を伴う可能性がある薬剤を最後に服用されて、2 週間が経過していなければ施術を行うことができません。
- ・皮膚悪性腫瘍、前癌病変、またはその疑いがある場合。
- ・ケロイドを有する部位、及びケロイド体質。
- ・HIV 陽性の場合。
- ・出血性疾患を発症している場合。
- ・抗血液凝固剤を服用している場合。
- ・リウマチ既往歴、金製剤の服用のある場合。
- ・肌色、白色の刺青を入れている場合。
- ・太田母斑の肌に刺青を行っている部位。

施術不可 レーザートーニングによる治療の場合に以下の状態にある患者様

- ・妊娠中、授乳中の場合。
- ・ステロイド、金製剤を使用している場合。
※現在または一定期間内にステロイド薬を内服している、またはステロイドの湿布、外用薬を使用している場合、当クリニックでは安全性の観点から、光、レーザー等を用いた施術を行いません。
- ・アートメイクの部位がある方。
- ・通常アートメイク以外にミスアートによる白色、肌色が混在している部位がある方。
- ・麻酔にアレルギーのある場合。

■以下の方は医師に相談下さい。

- ・悪性腫瘍を除く）を発症している場合。
- ・蕁麻疹、アトピー性皮膚炎、アレルギー体質の場合。
- ・糖尿病、高血圧、心臓病などの慢性疾患がある場合。
- ・心臓ペースメーカー等埋め込み型医療機器を体内に埋め込んでいる場合。
- ・妊娠している場合。
- ・授乳期間にある場合。
- ・日焼けをされた方（スキントーンが暗い方）もしくは施術後に日焼けする可能性がある場合

施術の可否については医師の診断に従い、必要に応じて一定の経過観察期間を設ける場合があります。